



# Group Epsilon 2015#04 Meeting

## 2015/09/06 Sun. 12:30–18:00

### @Shinjuku

Newest Version 20150901 . edited & compiled by sugiken

#### 1 Program

Opening Address: 全体司会 田中 未来 (東京理科大学 助教)

I. Presenter: 古澤 えり (東京大学工学部建築学科 4年)

Title: 建築の境界線

Time: 12:35–13:35.

II. Presenter: 佐々木 惟子 (早稲田大学卒, 一橋大学法科大学院中退)

Title: 瑕疵担保責任の法的性質論

—実定法学の基礎から民法(債権法)改正まで—

Time: 13:35–14:35.

III. 臼井 東 氏の紹介 by 久保田 栄一

Time: 14:45–14:55.

IV. 特別講演 (司会: 久保田 栄一)

Presenter: 臼井 東 (日立製作所)

Title: 私と“心理学” ~もうひとつの心理学~

Time: 14:55–16:25.

V. Free Discussion (Main theme “無限について”)

Time: 16:40–18:00

## 2 Abstracts

### I. 古澤 えり (ERI, FURUSAWA) 東京大学工学部建築学科

Title: 建築の境界線

#### Abstract:

「建築」の境界線と、建築の「境界線」の話をごさせて頂こうと考えています。

前半では、「建築」に内包される分野をいくつか紹介し、設計するにあたって考えなければならない要素について概説します。その後、実際のプロジェクトの紹介を通じて、設計者が何を考えながら建築をつくっているのかを私なりに説明します。

そして後半では、建物としての建築が誰のものか、という個人的な疑問から、建築と人間との関係を探る分野である「建築計画学」についてお話ししたいと思います。

建物に関する様々な事柄を、設計する側の人間がどのような目で見ているかをお伝えできれば幸いです。

### II. 佐々木 惟子 (YUIKO, SASAKI) 早稲田大学卒、一橋大学法科大学院中退

Title: 瑕疵担保責任の法的性質論—実定法学の基礎から民法（債権法）改正まで—

#### Abstract:

本発表の最終目標は、法学部生に向けられる質問堂々第1位、「六法を暗記するの？」のイメージの払拭である。

本発表では、まず、すべての法律に共通する、法的思考の基礎である法的三段論法につき簡単に説明する。次に、私たちに最も身近な法律である民法の設例をもとに、当事者の言い分をどのように法的に構成するか、その構成の際に問題となる法解釈を解説する。今回問題となる法解釈は、題名にある瑕疵担保責任である。その法的性質論（瑕疵担保責任とは何かというレベルの議論）は、古くから2つの説が対立しているため、その議論を紹介する。そして、瑕疵担保責任は、本国会で提出された民法改正法案で変更が加えられたことで、議論に終止符が打たれるため、最後にその解説を行う。

### III. 臼井 東 (AZUMA, USUI) 日立製作所

Title: 私と“心理学”～もうひとつの心理学～

#### Abstract:

以下の3テーマについて講演予定です。

#### (1) 人文系博士課程からメーカー研究職へ（私の過去）

自己紹介を兼ねて、来歴をご紹介したいと思います。人文系博士課程から、どうやってメーカーに就職できたのかということや、人文系博士課程での研究生活など、お話しできればと思います。

#### (2) 私の学んできた心理学

私が学んできた心理学領域について、「質的心理学」、「社会構成主義」、「ヴィゴツキー」、「正統的周辺参加」、「状況論」などのキーワードから、説明します。いずれのキーワードも、従来の伝統的な心理学に対するアンチテーゼとして、用いられるものです。私が学んできた心理学領域の特徴や、伝統的な心理学との差異など、お話しできればと思います。

### (3) 私の仕事

今私が行っている仕事について説明します。私が大学院で学んできたことが、どう生きているのかなどお話しします。

## IV. Free Discussion

テーマ: 無限について

自由討論の題目は、「無限について」です。無限はギリシア時代から現代まで人々を魅了し続ける深遠な存在です。昨年の冬も携帯クイズゲームで素数の無限積が偶数かどうかという問題が世を騒がせており、話題に事欠きません。

この大物をどう料理するかは非常に難しいのですが、今回は、数学の無限、物理学の無限、神学の無限について、3つのパートにわけて議論したいと思います。それぞれのパートでプレゼンターから複数の議題が提起されますので、それに対する意見交換をお願いします。ある議題が別のパートの議題と通底する構造を持っていたりすると面白くなります。参加者は是非そうした観点で議論を深化させてください。

数学の無限に関しては大学1年で習う数学の壁の一つ、 $\epsilon - \delta$  論法や数列の収束などを議論し、論理と想像力の限界に挑みます。また、物理の無限に関しては空間および時間の無限や物理量の無限を、一般相対論を用いて議論し、最先端の自然観に触れたいと思います。

先ほど述べた3つの無限の中で、神学の無限だけは議論の内容が想像できないかもしれません。無限とは神の存在や力の象徴です。中世ヨーロッパのスコラ哲学の中でさまざまな議論が行われ、人間の価値観にも大きな影響を与えています。無限の神と有限の人という対比は現在でも有意義な議論の枠組みなのではないでしょうか。科学哲学では実在論と社会構築主義、論理学では演繹と帰納などがこれと似た構造を持っていると考えられます。参加者は正面からスコラ哲学を論じても良いですし、無限と有限、神と人、絶対と相対といった対比をご自分の研究分野に当てはめて論じていただいても結構です。さらに、なぜ人は無限に興味を持つのか、絶対者の存在がある西洋文化と、それがあまりない日本文化との間に違いはあるのか、あるとすればそれはどこか、などといった斜め上の切り口も面白いかもしれません。

意外で刺激的な議論が立ち上がってくるのは、数学や物理学の無限よりも、実はこの神学の無限に関する議論なのかもしれないと予想しています。人文系に属する諸氏は、単にその場で参加するだけでなく、是非自分なりの議題を持ってご参加いただけると幸いです。

## 3 会場のご案内

### 3.1 Group Epsilon 2015 4th Meeting

Z 会新宿教室で開催します。

- URL: [http://www.zkai.co.jp/juku/todai\\_m/map.html#page3](http://www.zkai.co.jp/juku/todai_m/map.html#page3)
- 住所: 東京都渋谷区代々木 2 丁目 7-8 東京南新宿ビルディング 8 階
- 教室: TBA (当日案内を出します。)

---

$G_P^\epsilon$  (Group Epsilon) Central Executive Committee (CEC)  
 $F_M F_k$  (Free Math Forum by kymst) URL: <http://kymst.net>  
Subpage "Action of Group Epsilon"  
URL: <http://kymst.net/index.php?Group%20Epsilon>  
Contact us, mail to :- ) [kymstkymst@gmail.com](mailto:kymstkymst@gmail.com)

